

津市長賞



雨あがり
臼杵 静子

津市議会議長賞



荷塘清趣
彦坂 美保子

津市教育委員会教育長賞



笑う月
岡本 望

岡田文化財団賞



静 一
大森 蕙風

日本画 審査評

今回の日本画部門は、落ちついた色調の作品が多く、モチーフ選びにも新しい視点が少なかった。ただ、賞に入った作品群はそんな中でも作品に作者の真摯さが表れている。どの作品も技術はよいが、練られた構成や作者の思いが込められた作品はよい結果だったように感じる。「描きたいものを描く。」日本画や水墨画の技法でこれからも表現していただきたい。

津市長賞



rising
松本 真吏乃

津市教育委員会教育長賞



黄昏にまみえる孤独
北田 裕久

津市議会議長賞



花燃ゆ
高山 多美子

岡田文化財団賞



アトリエにて
谷本 久

洋画
審査評

今回の市展は、出品作品総数が減少したものの新しい出品者や力作が多かったことが嬉しかったです。市長賞を始めとして表現したいことや、技法の工夫が絵の魅力につながっていることに感心しました。これからも、絵と向き合う時間を大切にしてもらい、個性豊かにしっかりと作品を制作されることを期待しております。

津市長賞



月兎一弐 伊藤 良治

津市議会議長賞



白雲流る
西井 明

津市教育委員会教育長賞



ガブリ! 谷川 成美

岡田文化財団賞



じいちゃん
宇戸平 凌莞

彫刻 審査評

今年度は8点の応募を頂き、全作品が入選となりました。年齢層も10代から80代と幅広かったのですが、約半数が40代以下の出品者ということで、表現技法も木・粘土・金属と様々で魅力的な作品ばかりでした。木彫りと金属を組み合わせた美しいフォルムの市長賞、巧みな造形表現の中にも若い感性が光る岡田文化財団賞など、素晴らしい作品が目を見ました。来年度も意欲的で豊かな感性を感じさせる作品を期待しています。

津市長賞



品川和竿 鮎ルアー竿 全竹中通し
森 作

津市教育委員会教育長賞



凝 視
坂口 真喜

津市議会議長賞



皓き告白 岡田 正信

岡田文化財団賞



大鉢 内藤 唯

美術工芸
審査評

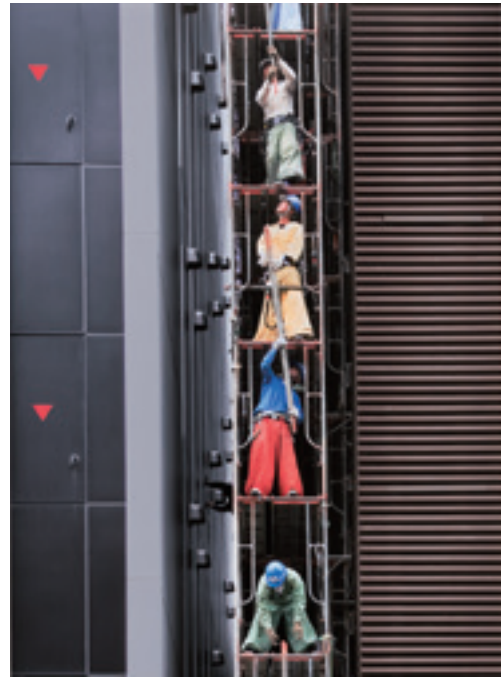
審査会場に入った瞬間私の予想よりもはるかに力作・大作が多く驚きを感じた。出品数が28点と少なかったが素材・表現・技法もバラエティに富んでいる作品の中から賞を決めることは容易くなかった。市長賞の「品川和竿 鮎ルアー竿 全竹中通し」は、竹の魅力を最大限に活かし漆の胴塗りが美しかった。他の受賞作品もオリジナリティーや素材をうまく使った作品が多く、今後、出品者の制作活動につながるよう期待したい。

津市長賞



ごちそうをゲット 松尾 正明

津市議会議長賞



チームワーク 加藤 清史

津市教育委員会教育長賞



祭のわらべ 村田 元

岡田文化財団賞



出番前 上村 澄子

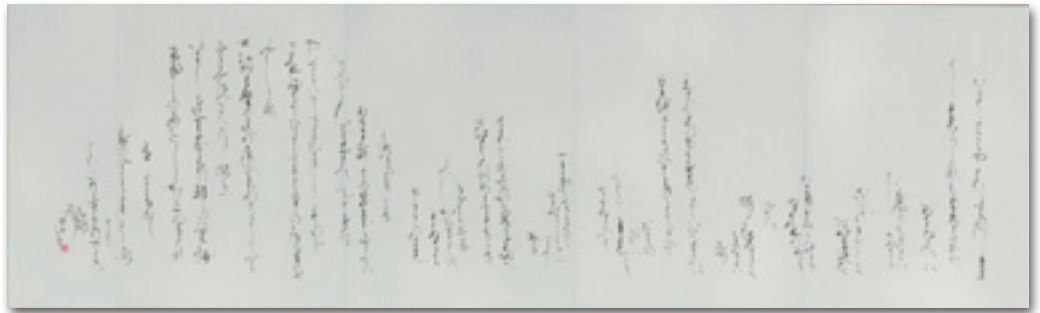
写真 眞査評

昨年より応募点数はやや減少したが、上位入賞作品は力強い写真が集まった。コロナ禍の中作家活動を続けておられる事に感心させられました。審査にあたって何度もくり返し入賞、入選を選びました。

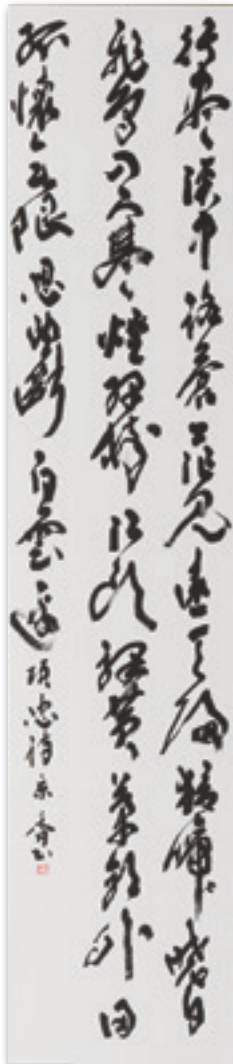
風景写真は力強さが少なく見る人の心をうつ作品をめざしてほしい。

津市長賞

かくとだに…
(百人一首)
今高 輝舟



津市議会議長賞



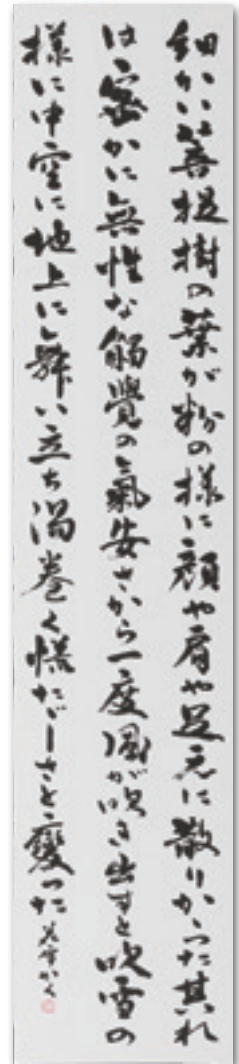
項忠詩
新保 京香

津市教育委員会教育長賞



飛龍乘雲
新家 孝山

岡田文化財団賞



岡本かの子の言葉
鎌田 花宵

書
審査評

昨年より5点の出品増となり、篆刻は9点と他市の美術展には無い幅広い内容の力作が並びました。津市長賞は構成と線の強さに魅力を感じました。津市議会議長賞は流れのある行間が響き合う作。津市教育委員会教育長賞は充実感のある線質で側拓と調和した作。今回の津市美術展覧会で漢字、仮名、調和体、篆刻の発展に大きな希望を持ちました。